アンケート

Q1. 高校で「物理基礎」を履修しましたか？   yes  
Q2. 高校で「物理」を履修しましたか？   yes  
Q3. 「物理学」に対して何を感じるかを教えて下さい。高校物理は最初はわかりにくいが一度理解したら数学と同じように溶けると思う。物理学全体としては、世の中のあらゆる事象がかかわっているから万物の決められた働きなのだと思う。

第1回　レポート課題  
マクロおよびミクロと聞いて思いつく「もの」や「こと」を教えて下さい。  
また，マクロおよびミクロの境界は何だと思いますか？

ミクロやマクロを聞いて一番初めに思いつくのはミクロ経済学や、マクロ経済学、あとは物理の量子力学がある。

マクロとミクロの境界はマクロは目に見えやすいもの、ミクロは目に見えないもしくは見えづらいものだと思う。

例えば、マクロ経済学は政府、企業、家計を早退都市、全体の経済として数値化したもので我々にとって体感しやすいものとなっている。なぜなら、経済はそれぞれが密に相互して働いているが普通の人はそれをいちいち考えないからです。それに対して、マクロ経済学は前述したような３点を区別して考え、さらに細分化した指標などを用いて研究する。例えば鉱工業生産指数などというものを使うらしいが、普段生活していてそれを体感する、目に見えることはない。これらが私の思うマクロとミクロの違い、境界線だとおもう。

また、物理の世界で考えるとミクロは量子力学の世界それ以外がマクロだと思う。理由としては経済学の話と似ているが、感覚的に知覚できるかできないかである。量子力学について私はあまり知らないがとにかく微小な粒が感覚的な予想とは全く異なった動きをするらしい。それに対して古典物理、特に力学などはある程度私たちの感覚にもとづいた予想に則って動いてくれる。

以上をまとめると、我々が普段近くできるようなものがマクロ、普通では知覚できないようなものがミクロであると思う。